

# 国際研究集会の御案内

東京大学史料編纂所では、ロシアに所在する日本関係史料の系統的な調査・研究と収集に力を入れてきました。現在はロシア国立歴史文書館・同海軍文書館・科学アカデミー東洋古籍文献研究所（旧東洋学研究所）等の機関と協力して史料調査と目録作成に取り組み、国際研究集会を開催しています。今年度も多くの方にご参加いただけるよう御願いたします。

## 日露関係史料をめぐる国際研究集会

日時：2009年6月2日(火)、13:30～17:00

会場：東京大学東洋文化研究所(大会議室)

### 第Ⅰ部 19世紀初頭サハリンアイヌとの交易帳簿をめぐる

※ロシアに所蔵される本帳簿は、レザノフの部下による北方紛争の際に持ち去られたものと思われ、アイヌ交易の実態を明らかにする貴重史料です。

- ▼報告1：保谷徹(東京大学)「サントペテルブルグ東洋学研究所所蔵の帳簿『発見』と共同プロジェクト」▼報告2：ワジム・クリモフ(サントペテルブルグ大学)「東洋学研究所における帳簿の来歴と共同研究」▼報告3：東俊佑(北海道開拓記念館)「幕末蝦夷地の経営帳簿『土人勘定差引帳』」▼報告4：谷本晃久(北海道大学)「アイヌ交易研究と帳簿の概要」

### 第Ⅱ部 特別報告

- ▼報告1：ウラジミール・ソボレフ前館長(ロシア国立海軍文書館)  
「19世紀末朝鮮における露日両帝国の権益対立の歴史—海軍文書館史料より—」  
▼報告2：アレクサンドル・ソコロフ館長(ロシア国立歴史文書館)  
「19世紀後半～20世紀初頭の露日貿易と経済関係」

※ 終了後、レセプションを予定。



史料編纂所

※会場が従来と異なりますのでご注意ください。

## 主催/日本学士院・ 東京大学史料編纂所

連絡先：科研事務局 03-5841-8411

科学研究費補助金基盤研究(A)「東アジアの国際環境と中国・ロシア所在日本関係史料の総合的研究」(研究代表者：保谷徹)

※本集会は日本学士院による日本関係未刊行史料調査事業(国際学士院連合関連事業)の一環として行われます。